

和歌山生協病院における勤務医負担軽減計画

令和８年４月現在の勤務医の勤務状況 １．医師数 常勤１８名 非常勤 １０名 ２．他医療機関からの当直医師数 ７名 ３．常勤医師平均業務時間 平均週４９時間（時間外１０時間） ４．当直回数 平均月２.４回（最大４回、最小０回） ５．育児支援制度利用者 ０名	これまでの取り組み及び今後の目標 当院では、常勤・非常勤医師の雇用、短時間勤務医師の支援、医師業務のタスクシフトなどを行ってきた。今後も以下の取り組みを行う。 ◇非常勤医師の雇用 ◇短時間勤務医師の支援 ◇研修医の採用と育成 ◇医師と看護師等の医療関係職との間の役割分担 ◇働き方改革の対応
---	--

項目	現状	令和９年までの目標	目標達成のために必要な項目	達成状況
非常勤医師の雇用	当直、健康診断、画像診断、内視鏡、救急・時間外担当を雇用し、病棟業務に専念できるようにしている	当直、健康診断・画像診断担当、内視鏡担当医、救急・時間外担当医を引き続き雇用するとともに新規雇用に努力する	紹介会社等の利用 ホームページ等での広報	
短時間勤務医師の支援	育児中の職員等を対象に、残業免除、当直免除あるいは制限等の取り組みを行っている	子育て等の事情により、フルタイムで勤務できない医師について、短時間勤務医師として支援する。また男性であっても育児支援を積極的に行いたい医師の定着を促す観点から、男性職員に対してもより柔軟な勤務体系を選択できるようにする	面接時にニーズのくみ取り	
研修医の採用と育成	２年目研修医４名、１年目研修医１名在籍	臨床研修医の育成に努め、専門研修も残ってもらえるようにする。	ニーズを聞きながら研修満足度を高める	
医師と看護師等の医療関係職との間の役割分担	採血・静脈注射、薬剤管理、薬剤の投与量の調節、入院中の療養生活に関する対応、患者・家族への説明、医療機器の管理については看護師、薬剤師等との役割分担をしている	さらなるタスクシフトができる分野がないか検討し改善していく	多職種参加の会議で医師の勤務状況を共有し、改善点を検討する	
	医師事務作業補助者 現在５０対１ 常勤１名 非常勤５名勤務しており、情報提供書や退院時サマリなど書類作成の業務軽減につなげている	書類作成等の業務をさらに軽減するために医療補助事務者のスキルをアップする	医師事務作業補助者に対して研修を行う。	
働き方改革の対応	宿日直許可申請、タイムカードによる労働時間管理を行っている	時間外労働を減らす	時間外労働が多い医師と面談し、軽減策を講じる。	

